



こんにちは

村田 けい子

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2018.7.28

No 161

8月1日より いよいよ実施！ 病院での支払いが月500円のみ。 —子ども医療費現物給付実施へ—

長年の保護者の願いであった窓口での医療に支払いが、これまでの「3割」から「月500円」ですむようになります。薬局でも月500円ですみます。

対象者は951人。18歳までの乳幼児・児童が対象です。すでに受給者証が送付されていますので、提示すれば月500円の負担ですみます。

お金の心配をしないで病院に駆け込めますね。

今後は自己負担金を無くすこと、子ども以外の障がい者などの福祉医療制度対象者も現物給付の実施が課題です。



地域のお話

●五無齋研究会よりお知らせ

武石小学校訪

問

五無齋さんの写真や標本について見学します。

8月2日(木) 9:30~11:00

9:00 立科町公民館集

合

車で乗り合わせて行きます。武石小学校の校長室でお話を聞いた後、校舎周辺を散策

近くのお寺の龍の彫刻を見学し、時間があれば武石公園までお散歩を兼ねて



炎暑・酷暑
お見舞い申し上げま



土山 希美枝氏

「政策提案が重要な議会の活動です。定例議会の終了後に、全員協議会などで、今度の議会はどうかのかがみんな議論が必要ですよ。」

「議論と対話でつくる政策議会」

7.23 北佐久郡議会議員研修会 in 軽井沢くつがし。立科町・御代田町・軽井沢町の議員を対象にした研修会があり参加。住民の切実な声やつづきやすさを基に、課題解決の目標を設定し、事業達成(制度新設・改善)のために政策を作って実行する役割が議会に求められているとして、具体的なやり方を含め講義を受けました。

講師は龍谷大学政策学部教授の土山希美枝氏。膨大な情報をパワーポイントで示しながらマシニングトークでガンガンと話されました。「議会と語る会」を設定しても、どうやって住民の声をくみ上げるのか、そのやり方について提示。実際に議員からアンケートを取って、黒板にとりあえずペーパーに書いて張り出すことから、課題を見つけ出すやり方を実際にやって見せました。当町でも、「町の未来を語る会」が11月初旬に計画されていますが、その参考になる講義でした。

行政を監視することと住民の声を政策化して実現のために議論することに議会の役割があると講義を受けました。

オスプレイ 通告なしの勝手気ままな訓練 飛行に抗議する！

7月23日、南牧村と川上村でオスプレイの飛行が確認され、役場としても抗議するよう共産党として申し入れたということです。政府が抗議一つしないという腰で、なめられている状況です。日本の空で勝手な真似をさせてはなりません。



落下してしまったプルーン。結構大きくなっていったのにみんな落ちて残っているのはほんのわずか。今年の消毒3回だけ。もっと消毒回数を増やさないと実がつかないでしょう



生ごみから芽を出し日々大きく育っているスイカと夕顔。たくましい生命力に感嘆！



今年もイガがたくさんついている栗。



三日三晩の土用干し



色づき始めた桃

豊作だった我が家の梅、カリカリ梅や砂糖煮などとともに今年挑戦したのが梅干し。土用になったので庭に広げて干しています。強い天日にさらされて、少し塩を吹いているようです。

我が家の夏の庭模様



今週のパチリ

